

私はようざんに入職して、1年が経ちました。現在、小規模多機能型居宅介護（ケアサポートセンターようざん小高）で働いています。就職する前は、群馬医療福祉大学の社会福祉学部で、主に福祉に関する法律のことなどを学んでいました。大学にあった求人の中で何社か候補があったのですが、**ようざんを選んだ理由は、見学に来た時の「雰囲気」が決め手となりました。**ようざんは、利用者さんと職員がいつも楽しそうにしています。常に笑い声が絶えず、職員も利用者さんを楽しませることばかり考えています。自分もようざんの職員となった今、毎日笑顔が絶えず、利用者さんとのレクリエーションの時間が何より楽しいです。

私は初めての就職なので上司や先輩は厳しいのだろうか、仕事を覚えられるだろうかという不安でいっぱいスタートでしたが、とても優しく教えてくれたのですぐにその不安はなくなりました。



渡辺愛美さん エピソード

また、ようざんには独自の社内研修があり、未経験者でもすぐに現場で活躍できるように育てられる制度があります。その中で、私が一番役に立っているのが、「認プロ」という認知症ケアの基本を学べる研修です。大学では、介護技術や制度のことについて授業はありましたが、認知症ケアのことについて詳しく学ぶ機会がなく、現場に入り最初に戸惑ったのが、認知症の方に対する関わり方でした。「認プロ」では、事例を踏まえて丁寧に教わることができるので、他では受けられない貴重な研修だと思います。私生活においても、認知症を抱えている私の祖母に対する接し方を考え直すきっかけとなりました。

これは余談ですが、社会人になって1年が経ち、大学の時の友人とお互いの職場場のことについて話すことがあるのですが、1世の特別養護老人ホームで働いている友人よりも自分の方がお給米料を沢山もらえていてちょっと嬉しかったです。ようざんは、**介護処遇改善手当交付金が全額しっかり貰えるので、その分お給米料が高くなる**と知りました。

これからは、介護福祉士の資格を目指しながらしっかり頑張っていこうと思います。頑張って働いたお金で、大好きな洋服を買えるのが私の楽しみです。ようざんに入職できて本当に良かったと思っています。